

公益信託世田谷まちづくりファンド

第27回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【2回目応募グループ】

< 3-1 緑友会 >

- ・ 確立された理念と方法にもとづく素晴らしいヴォランティア活動で、ファンドでの資金助成を効果的に堅実に活かしていただけそうな提案でした。活動の堅実な積み上げとともに、多くの方に活動を伝えるような仕掛けづくりにも期待します。

< 3-2 認定NPOホームケアエクスパート協会 コミュニティ音楽療法グループ >

- ・ 音楽療法とプロの音楽家のコンサートとの合同開催は、とても発信力がある活動だと思います。今年度は公開型の音楽療法も予定されているようですので、まだ参加されていない、より多くの地域の方々に届くような広報の方法を考えることが重要になりそうです。合同コンサートをきっかけに、多くの地域の方々が音楽療法に参加することで、この活動が皆さんの目指す地域コミュニティの核の一つなるよう頑張ってみてください。また同時に、今年度は継続的に活動を行うためにも、助成金がなくてもできる運営についても少しずつ意識し始めてください。

< 3-3 一般社団法人東京ヒューマンライブラリー協会 >

- ・ 多様性を認め合う社会の実現のために、ヒューマンライブラリーで交流と理解を広める。同時に人材育成も行い、継続と拡大に努めている点も素晴らしいです。

＜ 3－4 音楽療法せたがやくらぶ＞

- ・「療法」というと特殊・特別感があるのですが、特に「療法」を必要としているわけではない人も含めて、より広範な人にとって有用なプログラムかもしれないと感じました。的外れなアイデアになってしまうかもしれませんが、より広範な人に親しんでいただけるよう、室内でのセッション以外にも、校庭や園庭、広場や公園といったオープンな場で、定期的に、昔のラジオ体操のようなイメージでできないものかなと思いました。

＜ 3－5 世田谷ワーキングマザーの会＞

- ・一步一步、自分たちがやりたいことに向き合い、仲間を広げながらこつこつ実績をつくられてきている姿は、本当に素晴らしいと思います。当事者である自分たち自身がいいと思うこと、必要だと思うことをどんどん広げていくプロセスも、周囲の人に勇気を与えてくれると思います。地域にしっかり根差し始めた活動をどう発展させていくのか、次のステージに向けた取り組みとしてください。

＜ 3－6 特定非営利活動法人 せたがや喜多見農とみどり＞

- ・喜多見地域の課題に沿った活動なので是非、今後も継続して貰いたいと思います。昨年も指摘しましたが料理教室と映画上映会の収支のバランスが悪いのでもっと工夫が必要です。地域の方には関心があるテーマだと思うのでイベントの周知方法を地域の媒体を上手く活用してください。助成金が無くても運営できる方法を是非この1年間で見つけてください。

＜ 3－7 NPO法人車椅子社会を考える会＞

- ・取り組む課題が明確で活動の目的がわかりやすいと思いました。電動アシスト車椅子を利用する方はバッテリーが切れた時いったいどうされているのか、知る機会もないのが現状でしょう。当事者の皆さんの声を集めるといふ皆さんの活動はいろいろな問題を提起し、幅広い方から共感が得られると思います。一方で、審査会でも意見があったように活動計画はさらに詳細につめてから取り掛かってほしいと思います。企業や自治体等へのはたらきかけ方など当事者の声をどのように活かしていくか。

活動の最終目標をみすえ、1年目の着地点をどこにおくか。そのうえで調査項目や調査場所、対象が具体的にみえてくると思います。また活動の実施体制が見えない点も気がかりです。グループだけですすめようとせず、ぜひ周囲に協力を求めて一緒に取り組んでください。

＜ 3－8 アニマシオントイ＞

- ・申請書にあった言葉、「科学で遊ぼうに参加したきょうだい児の一人は他の兄弟や家族に再度実験をして見せた」というご報告が印象的でした。支援をされた子が、今度は別の誰かに対してアクションを起こしていく。支援される立場だった子が、誰かを支援したり喜ばせる側にもなれた。そんな活動成果が広がっていくことを願います。